

Cao Thi Thu Ha 氏の学位審査結果の要旨

主査：長谷 公隆

副査：中邨 智之、齋藤 貴徳

骨格筋量低下者に6ヶ月間のレジスタンストレーニングと3ヶ月間のアミノ酸、ビタミンDサプリメントを投与しその介入効果が検討された。サプリメント追加により骨格筋合成抑制蛋白であるマイオカインの増加が抑制され、骨格筋指数、骨密度はサプリメント群で有意に改善した。中高年の骨格筋低下者に対する低侵襲レジスタンストレーニングとサプリメントの組み合わせは中高年の骨格筋低下を改善する可能性が示唆された。マイオスタチンの介入効果による変化は骨格筋の代謝に関与するマイオカインの役割を検討する上で興味深い結果であった。

これらの研究結果は、運動療法と栄養療法に基づく今後の骨格筋減少症（サルコペニア）の治療および予防医学、高齢者の健康増進に向けた介入法の展開において有用な知見を有しており、博士（医学）の学位に値すると判断した。